

# NAGAOKA High School SSH Bulletin

No.1 H28 (2016). May

新潟県立長岡高等学校



4月16日(土)に長岡技術科学大学 A 講義室において『平成 28 年度 SSH 理数科サイエンスコース課題研究発表会』が行われました。当日は発表者も含めて 323 名の来場がありました。

長岡高校理数科サイエンスコースでは 2 年生の「SSB」(理数科の学校設定科目)の授業の中で、1年間かけて「課題研究」に取り組みます。今回の発表会では、今年度 3 年生になったサイエンスコースの 37 名が 11 班に分かれて 1 年間の研究成果を発表しました。発表時間は 1 班あたり 7 分間です。各班はパワーポイントなどを利用してステージ発表を行い、その後にポスターセッションを行いました。(各班の研究テーマは下に示してあります。)



【発表会の様子】

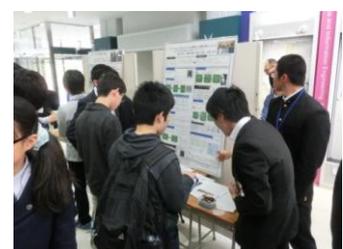
発表会には理数科 1 年生や新潟南高校理数コースの 2 年生も参加し、ステージ発表やポスターセッションの場面で活発な質疑応答の様子が見られました。また、発表会の運営では理数科サイエンスコースの 2 年生が、受付、司会、記録などで活躍していました。

発表会の実施にあたっては、長岡技術科学大学から会場の準備以外にも手厚いサポートをいただいています。各発表の質疑応答では大学の先生方からの質問やアドバイスがあり、研究についての講評をしていただきました。また、優れた発表に対しては「学長奨励賞」の表彰がありました。(「学長奨励賞」を授与された班は下の表で番号に○印のついた 3 つの研究班です。)

これらの研究の成果は 7 月 26 日にアオーレ長岡で実施する『第4回新潟県SSH生徒研究発表会 in Echigo-NAGAOKA』でも「ポスター発表」の形で披露されます。アオーレでの発表会には 1 年生全員が参加する予定です。1 年生の普通科の皆さんも研究成果を詳しく聴く機会がありますので、楽しみにしてください。

分野	番	テーマ	発表者氏名			
生物	①	ネコハグモの休眠と産卵	宮園 治	荒木 文二	関 裕太	大竹 敦
	□	ダンゴムシのカルシウム摂取と分解作用について	鈴木 淳史	郡司 哲仁	佐藤 哲哉	山澤 太河
地学	3	土の割れ方の研究	坂内 恵大	梶原 顕志郎	平井 翔大	
数学	4	4 次方程式の解に関する考察	永井 悠太郎	中野 柊太	牧口 康平	五十嵐 凜
物理	5	ベルチェ素子を用いた冷却器の製作	岩淵 瞬	井口 新太郎	熊倉 泰成	
	⑥	微粒子による摩擦の軽減	二宮 健彰	石坂 成基	大島 一楓	佐藤 健太
	⑦	ジョロジョロ音に関する研究	中村 八雲	鈴木 朋弘		
	8	ギネス紙飛行機はなぜ遠くまで飛ぶのかについての考察	丸田 悠斗	有坂 将輝	鈴木 一志	
	9	ドミノ倒しの研究	日吉 真喜	荒川 南	五十嵐 朱理	
化学	10	ペットボトルのリサイクルについて	青木 宥都	大関 啓吾	塩野谷 夏	矢川 小春
	11	水素燃料電池の研究	堀井 滉大	結城 龍海	大崎 俊輝	

「微粒子による摩擦の軽減」の研究班は、アオーレでの発表会で本校代表として英語でステージ発表をする予定です。さらに、○印と□印のついた研究班(4 班)がアオーレ長岡での発表会で英語を使つてのポスター発表をします。1 年生は、あらかじめ内容を理解しておくといいかもかもしれません。詳しい研究の内容を知りたい人は、「要旨集」を本校のホームページに、また、「ポスター」を特別棟西側 2 階渡り廊下と階段教室前廊下に掲示してありますので読んでみてください。



【ポスターセッションの様子】